

指定管理者制度導入施設 モニタリング結果報告書

1 公の施設の概要について

施設の概要	名称	秋川キララホール
	所在地	東京都あきる野市一丁目16番地1
	所管課	生涯学習推進課
指定管理者	名称	秋川キララホール運営共同事業体
	所在地	東京都あきる野市一丁目16番地1
	業務内容	1 文化ホール及びこれに附属する設備の使用に関する事。 2 市民の文化活動を推進するための事業に関する事。 3 文化ホール及び附属設備等の維持管理に関する事。 4 あきる野市教育委員会が必要と認める事業に関する事。 5 その他指定管理を行う上で必要な業務に関する事。
ホームページURL		http://akigawa-kirarahall.jp/
指定期間		平成30年4月1日から令和5年3月31日まで

2 施設の利用状況等について

項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
開館等日数(日)	308	306	306	306	306
利用者(来客者)数(人)	75,007	68,551	72,164	67,391	59,176
前年度比(人)		△6,456	3,613	△4,773	△8,215
前年度比(%)		91.4	105.3	93.4	87.8
利用料金(売上)合計(千円)	22,256	18,937	20,836	22,479	19,405
前年度比(千円)		△3,319	1,889	1,643	△3,074
前年度比(%)		85.1	110.0	107.9	86.3

3 施設の収支状況について

(単位：千円)

項目		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
収入	指定管理料	68,930	69,126	69,049	67,049	68,074
	使用料収入(売上)	22,256	18,937	20,836	22,479	19,405
	主催事業収入	13,269	11,953	11,782	19,118	19,306
	自主事業等収入	10,110	10,333	10,120	48	4,861
	共催事業収入	-	3,309	2,511	-	-
	その他の収入	3,065	2,502	2,613	2,370	2,218
	計	117,630	116,160	116,912	111,065	113,864
支出	人件費	33,390	34,808	34,830	39,354	34,670
	施設維持管理費	27,517	25,755	27,305	31,521	29,763
	運営管理費	28,859	29,920	26,510	43,623	42,429
	自主事業関係費	15,250	16,684	18,982	520	5,129
	その他の支出	-	-	-	-	-
	計	105,016	107,167	107,627	115,018	111,992
収支(収入-支出)		12,615	8,993	9,285	△3,953	1,872

※利用料金及び使用料収入については平成30年度内のホール使用について計上している。

※数字の単位未満は、四捨五入しているため、内訳の計が合計と一致しない場合があります。

4 施設の利用促進や市民サービスの向上の取組

利用者アンケート（実施時期や具体的な方法など）
・ホール利用者へ施設に関するアンケートと、主催・自主事業の内容についてのアンケートを実施しました。
利用者から寄せられた意見・苦情及び対応状況
・階段の両側に手すりを設置して欲しいとの要望があったため、地下通路とホール北側階段に設置しました。 ・貸館時における警備・防犯体制についてご意見がありました。窓口業務終了後（午後6時以降）の貸出については、正面玄関に入場に関わるご案内を掲示すること、また不審者が現れた場合はキララホールのスタッフから声をかけることの統一を図りました。 ・車いすの定員を超えた場合の入場について問い合わせがありました。空席等がある場合には、様子を見て対応することをお伝えしました。また、ホールの収容定員を超えた場合には、入場できないことも併せてお伝えしました。
利用促進のための独自事業、市民サービスの向上の取組など（取組の内容、効果など）
・キララホール開館30周年を迎え、幅広い市民の皆様へのニーズに応えるべく、過去最大となる33本の主催、提案事業を計画しました。 とりわけ、「キララバンド第25回定期演奏会」は、「キララホール開館30周年」と「あきる野市吹奏楽団創立30周年」とを重ねて実施したほか、7年目を迎えるキララ合唱団は「キララ30周年記念合唱団」として82名の方に参加いただき、オーケストラとの共演を果たし、地域とキララホールの連携を深めました。 ・吉田兄弟「三味線だけの世界」、東京大衆歌謡楽団（昭和歌謡）・中村雅俊アコースティックライブ、神田松之丞独演会、よしもお笑いライブの5公演は完売となり、地域ニーズをくみ取った事業の成功例となりました。 ・音楽によるまちづくり推進事業として行った、「小林愛実ピアノ・リサイタル」は508人の来場があり、クラシックによるワンコインコンサートの中では最も多いご来場となりました。

5 経費削減のための取組

具体的な取組内容
冷暖房や照明のオン・オフによる節電、またコピー用紙の裏紙使用を徹底する等、研修に取り組みながらコスト削減に努めました。光熱水費は昨年より約176万円の削減となりました。

6 指定管理者による総合評価

利用状況、収支状況などを踏まえて、業務改善につなげていくための総括・自己評価
令和元年度の使用料収入は、コロナウイルスにより中止・キャンセルとなった期間があったため、計画値に対して94.4%にとどまりました。事業については5公演が完売になったこと、共催による自主事業を効率よく取り込めたことにより収入を得ることが出来ました。 支出については施設維持管理費が増加していますが、ガスの契約形態を見直し、光熱水費が削減されました。使用料の確認を半期ごとにスタッフと振り返り、引き続き経費削減に努めてまいります。昨年は人件費がかさんだため、効率的な人員配置を行い削減することができました。

7 所管課による総合評価（太枠にS～Bの3段階で評価を記入）

市民サービスの向上
チケットが完売した事業が5つあることに、市民のニーズに応えた事業が行えていることが伺えます。また、階段の手すりを設置するなど実際に市民の意見等に基づいた対応ができています。 今後も利用者アンケートを積極的に活用するなど、市民の声を幅広く収集し、その結果を反映させた事業展開を行ってください。
経費削減の取組
ガス契約形態の見直しなどにより、光熱水費が削減されたことは評価できます。引き続き節電・節水などの工夫を行い、経費削減に取り組んでください。
業務改善につなげていくための指定管理者の管理に係る総括的な評価
総収支が黒字になったことは評価できます。新型コロナウイルス感染症による貸館を中止した時期があるため、やむを得ない結果ではありますが、使用料金収入が昨年度よりも落ち込んでいます。多くの方々に利用していただけるような館の事業の展開、維持管理を期待します。

総合評価	A
------	---

※評価基準

- S：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等よりも優れた指定管理業務を行っている。
- A：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等に沿った指定管理業務を行っている。
- B：モニタリングチェックシートにおいて「要改善」の項目があり、協定書、事業計画書等で定める指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の必要がある。